

齋藤茂吉全集

第五十卷

I313. 15
J208/2-50



日文 701600476

183566

齋藤茂吉全集

第五十卷



(第二期 第十一回配本)

昭和三十年四月十五日 第一刷發行

齋藤茂吉全集 第五十卷

定價四百八十圓

著者 齋藤 茂吉

發行者 東京都千代田區神田一ツ橋二丁目三番地
岩波 雄二郎

印刷者 東京都青梅市横ヶ布三八五番地
山田 一雄



發行所

東京都千代田區
神田一ツ橋三ノ三
株式會社

岩波書店

落丁本・亂丁本はお取替いたします

精興社印刷・牧製本

日
記
五

目次

昭和十八年	一
昭和十九年	二九
昭和二十年	二四
昭和二十一年	三九
後記	一

昭和十八年

皇紀紀元 2603 年
西曆紀元 1943 年

茂吉六十二歲

一月一日 金曜 天氣吉、

午前八時半青山分院賀式、午前十時松原本院賀式、(青木守谷同道)ソレガスンデ、三宅鑛一、岡麓、幸田露伴諸先生ニ年賀まはりシタ。午後金槐集ヲ少シシラベタガ、アト午睡。渡會浩君、柴生田稔君、五味保義君等年賀ニ來ル、クレオソート丸服用、腹工合ヤ、可シ。水ハナ出ツ。

一月二日 土曜、天氣吉、華氏^{38°} 午後^{44°}

腹工合ヤ、可。金槐集少シシラベル。ハガキ手紙類澤山ニ書ク。午食(餅及び鮭茶づけ)後、明治神宮、東郷神社參拜。齋藤平義智博士ニアヒ途上ニテシバラク談合、程ヨク疲レタ。横田弘夫、召集ニヨリ午後六時出發ス、旗ニ字ヲカキ饒別ヲヤツタ。横田ハ夜八時ニタツ、上野驛十時發、七人バカリ上野ニ行ツタガ、何レモ雜沓シテオクレナカツタサウデアル。ウイスキーナド少シノシタトコロガ小便シキリニ出テ困ツタ。

一月三日 (日曜) 天氣晴朗、ヤ、暖

平義智君ニ電話。興信錄ヲ見タリシタ。一名診察シテ入院シタ。金槐集ト萬葉集少シク執筆、午

睡セズ。西洋ヨリ淺田飴、堀内敬三ヨリ音楽ノ本寄贈ス。夜ハ鋤鋤ノ眞似ゴト、入浴後寒クテ何モセズ、八時ニ床ニ入りラヂオナドキイテキタ。山口君來訪シタガ寐タノデ失敬シテシマツタ。

一月四日 月曜、ハレ、寒ク³⁴。

寒クテ身體チマコマツタ。金槐集ト萬葉集ヲ少シク書イタ。午後藤森朋夫君、田中四郎君等年賀ニ來ル、上ノ山ノ四郎兵衛ノ子正男、滿洲入隊ニツキ立寄り茂太ノ軍刀ヲ持參ス。ナカナカ立派ダ。夕食ニ正男ヲ正客トシ誠二郎茂太ヲ交ヘ夕食ヲ共ニシ、山口君來リ共ニ一杯飲ム、ソレカラ短歌研究ノ選歌ヲマトメテ、ニユースヲ聞イテ寐タ。

一月五日 火曜、天氣吉、寒イ、

○診療ニ從事 ○來客、嶋中夫人令息、文學報國會ノ石塚氏ニ半折（實朝ノ歌）ヲワタス。土屋夏實君、野中己之助、大悟法利雄、櫻井裕子、田中隆尙、河野茂美ノ諸君、○本屋司郎軍醫少佐、コレハ紀仁ノ隊長デアツタ、只今ハ氣象本部付デアル。○夕食后ハガキ手紙等（年賀モ合セ）澤山ニカイタ。○下劑シバラクブリデノミ、酒三杯バカリ飲ンダガ寐テカラ胃ノ工合ワルカツタ。

一月六日 水曜、ハレ、小寒ニ入り、³²（華氏）。

甚ダシク寒イ。クレオソート丸一ツ飲ム。午後本院行總廻診 甘酒一杯ノム ソレヨリ淺草ニ行キ、ニユースヲ一寸見テカヘル、入浴、寐。

一月七日 木曜、ハレ、34°F、

七草かゆヲ食ス。千葉ノ中村嘉男氏、鎌倉ノ高橋愛次氏、大工棟梁ノ内藤啓次氏ヲツレテ來リ、土地ノ工合ヲ見テカヘル、雜煮ヲ食シ酒少シノム。夜、柴生田氏ノ歌ヲ聞ス。夜、渡會浩、田中隆寛、岡崎三君來リ、長谷川博士ノ結核ノ化學療法ノ書物ヲモラフ。十時半マデ話シテカヘル。今日ハ來客日デアツタ。

一月八日 金曜、ハレ、32° 大詔奉戴日。

觀。兵式陸軍ハジメ、ラデオヲ聞キ、飛行機ノ飛ブノヲ見タ。腹工合少シワルイ。金槐集ノコトヲ少シシラベテキル處ニ森類サン年賀ニ來ラレ、屠蘇ヲノム、ソコニ山田君、岡山ノ杉鮫太郎君來リ、三人モ共ニ雜煮ヲクフ、井上胤良君ノ世話ニテ老人一人入院、體ツカレテ臥床、夜食野菜油あげ、腹工合ワルイ。アララギノカツト下ノ文章一年分書イテシマツタ。

一月九日 土曜、ハレ、風強シ、38°

愛國百人一首ノタメニ書イタ實朝ノ歌ガ紛失シタコトヲ石渡氏^[家]カラ報告ガアツタ。ソレガ却ツテ予ノタメニ好都合ナリ。○金槐集ノコトヲ少シジ、進行セシメタ。○午睡二時間 ○夜モ(夜食鳥ノ汁)食事ス、ミ(夕方下利一度)金槐集ヲ取扱ツテ十時マデ起キテキタ。夜ノ方ガ稍暖クナツテヨイ、○南京政府參戰(臨時ニュース)

一月十日 日曜、ハレ、^{32°}（洗面所氷ル）

今朝ハ腹少シイタミ、クダツタ。○金槐集戀ノ部ヨリ少シヅ、進行シタ。○午後一時半、渡邊婦長ヲツレテ三越ニ買物ニ行ツタガ、賣子少クナリ、買手多ク、雑多デアツタ。足袋ナドハ男物品切、女モノヲ買フノニ一列ニテ半町モツマイテキタ。鳩居堂休ミ、高嶋屋ノ書家展覽會辛ウジテミタ、○入浴、○山口君久シブリニテ來リ歌ヲミタ、○夜半三時ニ下痢ノタメニ起キ、アトハ眠レズ曉ニナツタ。

一月十一日 月曜、細雨。

神尾夫人ニ電話、佐藤佐君ニ久シブリニ電話 ○金槐集ノツマキ少シ、雨ガ降ツテ來タ。○午後神尾病院ニ行キテ神尾博士、夫人、一家族ニアフ。しるこ一腕馳走ニナリテカヘル、○岩波書店ニ寄り、小林、佐藤君ニアフ、○地下鐵ニテカヘル、地下鐵賣場片付ケラレントス

一月十二日 火曜、ハレ、^{34°}

○診療ニ従事、○高橋愛次氏、棟梁内藤氏來リテ兎ニ角圖面ヲヒキテ願書ヲ出シテ見ルコトセリ。○來客、鹿兒島壽藏、中井克比古、大橋松平、大悟法進、文學報國會ノ石塚（紛失ノワビ）、中山省三郎、火野葦平、花輪光三、田中隆行、ノ諸氏 ○夕食後少シク書物セントシタルガ疲レテ駄目ニナル。○山本英吉、雨宮二氏、

一月十三日 水曜、ハレ、32°（0度）、

山房私信ヲマトメ、アララギ二月號ノ歌ヲマトメタ、午食後、露伴先生ヲ訪ヒ、新年ノ賀詞ヲ申シ白鷹一升ト卵トヲ贈ル、先生ハ臥床中ナリ、○ソレヨリ本院ニ行キ總廻診、高橋愛次氏ト電話ニテ建築ノコトヲ談合ス。○石原君ヨリ中井永一氏ノ症狀ノ電話アリ、例ヨリ名ヲ忘レテシマツタ、○入浴。山口君ヲ待テドツヒニ來ラズ、臥床、

一月十四日 木曜、ハレ、

中井永一氏ノコトニツキ、イライラシテ青木ナドト談合セリ。金槐集シラベタルガハカドラナイ。午後、平福未亡人來ラレ久シブリニテイロイロ話ヲシタリ。夜、山口、佐藤二君久シブリニテ來リ、シバラク談合、山口君白酒持參、三人ニテソレヲ樂シミノム。

一月十五日 金曜、ハレ 40°（午後42°）

午前、西村、宇賀田氏等ニ電話シ、宇賀田氏ニ往診依頼ス。石原（房雄）君ヨリ電話アリ。中井氏ノ病ノコトナルガ石原君モ諒解セリ。○高橋愛次氏、棟梁内藤氏ト共ニ來院、建築ノコト談合シテ去ル。○金槐集ノ増補ツツク。○午後午睡、○地曳專治君木炭ヲ持參シテクレタ。少シデモアリガタイ。

一月十六日 土曜、ハレ、

○藝術院總會ヲ上野帝國學士院内ニ開ク。藝術院賞ノ件ナリ、○午食ヲバ神田駿河臺下ニテナシ、○白百合女學校ニユキ校長山本むめ子女史ニ會ヒ、話ス、調子ノヨイ人ナリ、但シ成績ノ話ナドアテナラズ ○夕方、神尾夫人ト話スニ様子變ナリ。○アララギ發行所、カラ銀座ニヨリ、ニユース見テカヘル、氣ガオダヤカナイカラデアツタ。

一月十七日 日曜 ハレ、寒シ

○愛國百人一首ノ最終日ナノデ新宿伊勢丹ニ行キタルニ、岡麓先生ニオアヒシ、シバラクシテ丹波屋ノ鰻ヲ御馳走ニナリ、バスマデミオクリクダサレタ、○明治神宮參拜、佐藤君ニ（玄關）ヨリ、山口君ニヨリ甘酒（夫人ノ心ヅクシ）ヲ御馳走ニナリ、○アララギ發行所ノ歌評會ニノゾム○夕食、入浴何ニモセズ、

一月十八日 月曜、ハレ、

○午前中、何ニモ出來ズニシマツタ。○午前、神尾病院ヨリ使アリ、アルバム届ク、○午後二時ニ神尾病院ヲ訪ヒ、アルバムヲ返シ、話シタルニ、ヤハリ駄目ナルコトガワカツタ。短冊二葉カイトドケタ ○ソレカラ氣ガクシヤクシヤシ、淺草ニユキ、觀世音ニ參拜、實ニ太勢ノナカデ鰻井ヲクツテカヘツテ來タ。○寐テカラ柴生田君ヨリ電話アリ、アララギ原稿訂正ノ件ナリ。

一月十九日 火曜、ハレ、

○診察ニ從事 ○午前中ノ來客、村木ふく、嶋中夫人、西村夫人、榎本映一、小島德彌（書店）、橋本欽也、松井欽子、○午後留守中、田中隆尙、唐木順三、古田晃 ○出羽嶽會ノ切符ニテ國技館ニユク。勝敗ノミノ結果ダガ、相撲ハソノ過程ガ實ニオモシロイ。○天ドン（七十錢）、兩國カラ電車ニノリ、モマレモマレテカヘツタ。○金田一博士ヨリ「ラス」ヲ難ズル雜誌トドク。○茂太ニ寫眞等示ス（西村夫人ノ分）。

一月二十日 水曜、ハレ、曉ニ地震二回、

本院ニ電話カケタガドーシテモ通ジナイ、事務怠ケテキルラシイ。シカシ調査スルト、本院ノ電話ハ昨日カラ故障ガアルノデアツタ。石川大工本院ヨリ來リ洗面所修理シタ。○午後本院行、總廻診、院代ト談合、安井君ノコトナド話ス、○歸レバ石川大工大體ノ爲事ヲ完成シテキタ。茂太モ交ヘテライスカレーヲ食ツタ ○入浴、（來週カラ一週間ニ二度ト云フコトニシタ）。萬葉ノコトヲ少シク書イタ。

一月二十一日 木曜、大寒ニ入ル、ヤ、暖、午后44°

○西村氏、容態可良ノ趣ナリ、○午前中、萬葉會談話ノコト、眞淵ナドヲ引用スル文ヲシラベタ、○岩波書店ノ本堂君來リテ寫眞版ノコトヲ話シ、第一回ノ原稿ヲ手渡シタ。○午後三時マデ勉強シ、ソノアト午睡、タニ至ル、○夜食后、錢湯ニ行ク、○アト、九時マデ一寸家隆ノコトヲシラ

ベテ寐タ。

一月二十二日 金曜、ハレ、39° 夜雨降ル。

西村、幸田二家ニ電話ヲナス。○家隆ノコトヲ記入ス。○午後、幸田露伴先生ヲ見舞フ。熊谷直三郎博士ト同座ス。博士ハ銃獵好キニテ西洋ノコトヲ知ツテキタ。○ソレカラ地下鐵ニテ、歌ヲ作りニ行ツタガ出来ズニカヘツタ。○夜、コーヒノミ定家ノコトヲ書カウトシタガ旨ク出来ナカツタ。山口君アララギ選歌ノ原稿持参、スグカヘル。コーヒノタメニナカナカ眠レナカツタ。○一時スギカラ風起リ、雨降ル。

一月二十三日 土曜、雨ハレ清天トナル、46° 暖シ、

○金槐集ト定家ノコトヲ少シクカイタ。○古イばけつニこゝるたゝるヲ塗ツタリ。古イ蒸呂ニこゝるたゝるヲ塗ツタリシタ。○午後、金槐集ノコトヲ記載シタ。○二時間バカリ午睡。○夕方、建築棟梁、代願人ヲツレテ來ツタ。○夜、豚肉極ク少クツタ、紅茶一杯。○照國ガ双葉山ニヤブレ、安藝海ガ前田山ニヤブレタ、

一月二十四日 日曜、ハレ 40° 夕方カラ寒クナツタ。

こるたゝが旨クカワイデキル、○嘗テシラベタ顯昭ノ歌ナドヲ記入シ今日ノ萬葉會ノ話ヲ少シクシラベタ。○午後、青山善光寺ニ於テアララギ萬葉會ノタメニ會員二百餘名ノタメニ眞淵翁ノ萬

葉崇拜ノコトヲ話シタ。幾年ブリカノ講演ダカラシドロモドロデ大ニ弱ツタ。○鈴木一念(金二)ガ見エタノデ、山口、佐藤二君ヲ交ヘテ、道玄坂ノ花菱デ夕食ヲ共ニシタ。○茂太ハ横濱ノ栗原ノ新婚宴ニ行ツテ十時ニカヘツタ。○入浴、寐。安藝ノ海、怪我ノタメニ双葉山ト相撲トラズ。双葉全勝。○佐藤君ニ東鑑ヲワタス

一月二十五日 月曜、ハレ、^{38°}

○金槐集ト萬葉集ノ文ヲ一讀シタ。○佐藤君ニ電話シタ。○病院デ理髮シタ。飛山ノ孫ニ「兵一」ト命名シ、五圓ヲ祝ヒシタ。○午後モ金槐集ツマク、牛鍋少シ(五片)大ニウマシ。牛肉ハ實ニ久シブリナリ。○金槐集ト古今集ノ一讀

一月二十六日 火曜、ハレ、

○診療ニ従事ス、○來客佐藤正憲(北滿ヨリ歸還)、山本七郎(國民服技手)、古田晃、唐木順三(筑摩書房)、高橋愛次、齋藤春雄(第一書房)、田中隆尙(一高)、考ヘ方雜誌ヨリ電話、○六時ヨリ竹葉本店ニテ河野與一、同夫人ヨリ招ガレタ餐ヲ共ニシタ。酒飲ンダ。

一月二十七日 水曜、ハレ、寒シ、

午前中金槐集、午後本院行、總廻診、自費モ死亡セル患者アリ。○ハヤクカヘリ來ル、今日ノ風呂ハ休ミトシタリ、金槐集、岡田ノ鰻久シブリニテにしんノヤウナノヲ食ツタ、九時マデ勉強

○山口君來ル、

一月二十八日 本曜、ハレ、朝³⁴

○古今集ト金槐集ツヰキ、○午食ハ牛肉五片 ○午後三時マデ午睡、タマデ金槐集ト古今集 ○小苦カラモラツタ肉五片夕食菜、今日ハ鰻ハドコモ休ミデアツタ。

一月二十九日 金曜 ハレ、

○午前中、金槐集ト新古今ノ文ヲ一讀ス ○午後西村得二氏ヲ見舞フ（卯持參） ○三越ニユキ竹内栖鳳氏ノ遺作展ヲミル、○夜、新古今少シ、一體終了ス、

一月三十日 土曜 ハレ、

○武田博士ノ説ニ對スル異見ヲ前ニカイテオイタノヲ増補シタ、○午後同然、夜同然 ○夕食ハ肉ノカツレツニシタ、實ニ久シブリナリ、ソノタメカイクラカ勉強シタ、○タヨリノボセルヤウニ暖クテ變ダトオモツタガ、深夜スギテ雪ガ降ツタ。

一月三十一日 日曜、昨夜、雪降ツタ。37°、

○「果シテ新古今ニ墮シタカ」ノツヰヲ^{（原）}記載ス。○夜食、牛肉五片 ○入浴、一週間ブリナリ。

○中垣五郎、彌富破摩雄氏ノ論文ヲ嘗テヨンダノニ赤鉛筆ツケル

二月一日 月曜、ハレ、

○東撰六帖ヲ記載ス。○平福一郎サンヨリ電話アリ、明日關屋夫人來ラレルヨシ、○大塚久氏ノ實朝傳ヲハジメテ讀ム、ナカナカノ好著ナリ。又、上田英夫氏ノ實朝傳ヲハジメテ讀ム、コレモ好著ナリ。カウイフ好著出ヅル以上ハ老生ノ僕ノナドハドーデモヨキヤウナモノデアル。ヨツテ實朝ノ歌ノコトヲ主トシテ記スコトニシタ。

二月二日 火曜、ハレ、

診察ニ従事ス、○來客、關屋衣子（七面鳥ノ件）、西村奥サン、添島輝彦（明治天皇御製ノ件）、齋藤春雄（第一書房）、犬丸秀雄奥サン、大伴愛子、岡忍三郎、守屋壽夫（明治書房）書物寄贈、○半時間ネムリ、ソレカラ鰻ヲ山口君ノトコロニハコビ山口、佐藤二君ト共ニアラギノ選歌十時マデ。

二月三日 水曜、昨夜雪、寒、風雨

○昨夜雪降ツタ、ノチ雨ニナル、○午前中、實朝ノ歌ノ文ヲ一讀ス、○午後本院行總廻診、○二時半ニ病院ヲ辭シテカヘツタ。ソレカラ金槐集ノコトヲ書イタノヲ一讀シタ。夕食肉數片、十時マデ金槐集ノコトニコダハル ○夜、布野ノ中村重孝下クトル來ル 憲吉歌碑ノ件ナリ。いも、あづき等惠贈、

二月四日 木曜、雨、クモリ、42° 鬼ヤラヒ、立春

午前中、金槐集ノ舊文ヲ一讀、○午後同然午睡一時間、ソロモン海上ノ大戰果ヲ五時ノニュースニテキク、○夜ハ金槐集ノ數ノコトナドヲシラベテ十時ニ至ル。

二月五日 金曜、

○金槐集ノコト、傳本解説、歌數ノ計算チガヒナドヲシテ慌テタリシタ。午後同然 ○夜、佐藤君ニ來テモラヒ（歌ノ數ヲ訂正タノム）藤森君ノ歌ヲ閱ス、柴生田君ノ双男兒ヲモーケラレタルニ祝儀ヲナス。國家ノ干城二人ハ大ニ手柄ナリ。

二月六日 土曜、ヤ、暖、クモリ、雨

○午前、中村良子サン來ル、イロイロ話ヲナシ、澤瀉博士ニオクル歌ノコトナドヲ話シタ。午食餅、玄米ノ話ナドヲシタ。午睡ノマヘニ部屋ノ掃除ヲナシタ 塵埃充滿、鼻ノ穴眞黒トナツタ。高等師範ノ長野縣ノ青年（予、保証人）來ル。ソレカラ中村第三令嬢來ル、カヘル。土屋夫人ヨリ電話。○夜、院代ニ電話カケ、「宇田君」ノコトヲキク、○夜、ウイスキ少シニ眠劑少シノム。

二月七日 日曜、雨、風強イ、タハレ

○金槐集傳本。歌ノ校合比較ハナカナカ面倒ニテ疲勞シタガ、非常ニ努力シテナシ、午睡セズ。